

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるため 厚生労働省 「認知症バリアフリー」に関する懇談会

イトーヨーカドー

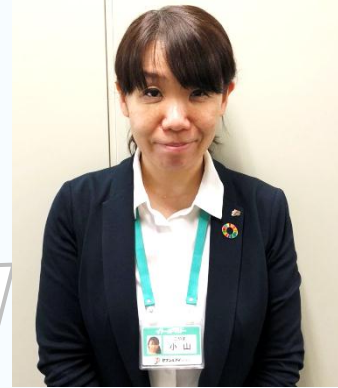
2019/5/22

イトーヨーカドー HLDGS.

CSRアクション

厚生労働省は、「認知症バリアフリー」について効果的な施策を打ち出すにあたり、「認知症バリアフリー」の取り組みについて金融、小売など、国民生活に密着している業界の取り組みや課題などを聞くために懇談会を開催しています。3月25日（月）の懇談会では弊社が選定され、認知症サポーター養成の取り組みから地域の皆様との連携から実施している健康増進などの取り組みについて発表させて頂きました。

日本では、高齢者の4人に1人が認知症または、その予備軍とされ、今後も増加が見込まれます。そのため、認知症の予防に関する研究および研究成果の実用化するための取り組みと認知症を発症しても、住み慣れた地域で安心して暮らせるための「認知症バリアフリー」の取り組みについて車の両輪のように進める必要があります。各企業との懇談会を開催しています。



イトーヨーカドー
CSR・SDGs推進部
総括マネジャー 小山 遊子



根本厚生労働大臣によるご挨拶



各企業の取組発表・意見交換

イトーヨーカドーの取り組み



地域の皆様と連携した認知症サポーターの養成や店舗を活用したコミュニティ活動についてご報告致しました。

関連情報

厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-rouken_169920_00001.html